# 山田小学校だより

―第4号―

文責　小　野

6月14日

先日の魚つかみ、プール掃除、引き渡し訓練等、大変お世話になりました。おかげさまで、見違えるようにきれいになり、本年度の水泳学習を進めることができます。昨日の全校朝会では、プール開きを行い、各学年の代表の子ども達が、今年の目標等を発表してくれました。安全に、自分の目標に向かい、それぞれが取り組んでくれるものと思います。

## 図書贈呈

本年度もオムロン阿蘇株式会社　代表取締役社長　藤田様、オムロン阿蘇労働組合　執行委員長　冨田様等から図書カードを贈っていただきました。そしてこの図書カードで、児童図書を購入させていただくこととしました。お陰様で、子どもたちも喜び、これまで以上に読書に親しむようになることと感じているところです。本年度も、読書活動の推進を掲げています本校にとりまして、本当にありがたい品物となりました。

## 田植えをしました。

六月十一日(月)三、四校時を使い、小野田にある水田(小野さん所有)で、田植えの体験活動を行いました。小雨の中での実施となりましたが、始めたらすぐに雷が鳴り、取り止めとし、次の日、五・六年生で無事に終えることができました。ＰＴＡ役員、農委員会の方には大変お世話になりました。

## 高原杯ソフト大会

六月三日(日)阿蘇市のあぴかグラウンドに十四チームが参加して、第四十三回高原杯学童ソフトボール大会が開催され、本校チームも参加しました。運動会後、一週間での大会で、十分な練習時間が取れていない中での初めての試合でした。最初は、緊張が見られましたが、時間が過ぎていく中で、子ども達も落ち着いたプレーができるようになっていきました。

後半、追い上げましたが、惜しくも敗退しました。短い練習期間でしたが、素晴らしい結果だったと思います。応援等ありがとうございました。今度は、防犯親子ソフトの大会を目指して、頑張ってくれるものと思います。

## なかよし集会

六月は、いじめ根絶月間として、身の回りの生活を見直そうと、ここ数年取り組みを進めています。本校においても八日(金)集会を行いました。その中で、相田みつをさんの詩を紹介しました。数年前、東日本震災後のテレビコマーシャルで、横断歩道でサラリーマン二人が肩をぶつけて、睨み合うシーンから始まり、片方が頭を下げ、ことなきを得るという内容のものがあったと思います。そのときの詩です。

セトモノとセトモノと
ぶつかりっこすると
すぐこわれちゃう
どっちかやわらかければ
だいじょうぶ
やわらかいこころを
持ちましょう
そういうわたしは
いつもセトモノ

イライラしている時、私たちはセトモノになるのかも知れません。そういう時はぶつかりやすく、壊れやすいからこそ、柔らかな心が大切だということでしょう。いつも自分のことを振り返り、柔らかい心を持ちたいものだと思います。

その後、さいころトーク、ゲーム、読み聞かせ等を行いました。いじめ根絶に向け、子どもたちがお互いのよさを認め合い、尊敬しあうことができるように、今後も教職員一同、子どもたちの指導に努めてまいります。